



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 A・シヤナヴァスカーン (インド)
"Together for a Better World 「より良い世界のために、共に」"
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (香港)
"Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
西日本区理事 鵜丹谷 剛 (神戸クラブ)
"Connecting Local to the World with YMCA"
「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
「一人は万人のために、万人は一人のために」
芦屋クラブ会長 柏原佳子
「豊かなクラブライフを！」

今月の聖句

だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりもしない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。
<マルコ福音書 2章22節>

8月六甲部合同納涼例会

と き: 2024年8月3日(土) 14:30~16:30
(受付開始 14:00)
と ころ: ニューミュンヘン神戸大使館 7F

- ◇冒頭の挨拶 中道基夫 (神戸クラブ)
- ◇次の挨拶 小野勅紘 (六甲部部长)
- ◇乾杯の挨拶 井出 浩 (六甲部直前部長)
- ◇各クラブ会長の挨拶 柏原佳子会長(芦屋クラブ)
- ◇じゃんけん大会
- ◇締め挨拶 上野恭男 (芦屋クラブ)

※会費: 6,500円 (内500円六甲部補助)

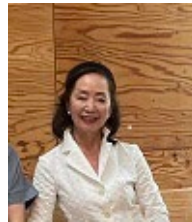
会 長 柏原佳子
直前会長 上野恭男
副 会 長 田辺征一・福原吉孝
書 記 上野恭男
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部EMC主査 島田 恒

8

Aug, 2024
326号

真夏の独り言 「強調月間・戦略」

会長 柏原佳子



暑中お見舞い申し上げます。
オリンピックパリの熱いニュースがTV・新聞から報道されます。
個人的には、体操の団体金を寄せ付けた橋本大輝選手の鉄棒の演技に涙しました。今の彼なら1か月のロスがなければ美しく際立った演技を魅せられたと思います。それでも中国の選手の失敗がなければ難しく、それがあったから難易度を下げて確実性をとる戦略を選んだ結果だったと一人納得しています。卓球はまさに戦略と技術の舞台！狭い台の上で繰り広げる攻防戦には、息が止まりそうです。1ラウンドを終えて首位に立った松山英樹のおかげで何とか良い眠りにつきました。さて、これからの攻めと戦略にゴルフファンは期待でドキドキしています。先日酷暑の中、巨人・阪神戦を甲子園で観戦！臨場感を味わいました。巨人席にも関わらず周りにはみな阪神応援軍団、隣も前も後ろもすべてで10人くらいが巨人ファン？暑すぎました。負けました。熱すぎる熱烈な応援団にはプロでも参るのでしょうか？涼しいリングのTVの前でガンバレ！って叫ぶのが一番いいと思うのが私の結論！3日は六甲部交流会です。部長の時の分科会で、「暑い日に涼しいところで冷たいビールを！」と提案したワイズメンの意気を引き継いで行われます。お世話をされる方は、本当にいろいろと戦略を立てておられるのですから、熱く盛り上がりてほしいと期待します。さあ、ますます熱を帯びるオリンピック！スポーツの世界を楽しむ暑い夏はこれからが本番です。

7月例会集計

| | | | | | |
|------------|-----|-------|-----------|------|---------|
| 第1例会出席メンバー | 16名 | 例会出席率 | 出席者 16名 | BF切手 | |
| メネット | 名 | | メイクアップ 1名 | 累計 | gm |
| コメント | | | 合計 17名 | | |
| ビジター | 3名 | | 在籍者 18名 | ニコニコ | |
| ゲスト | 3名 | | (内広義会員1名) | | 13,400円 |
| 合計 | 22名 | | 出席率 94.4% | 累計 | 13,400円 |

7月第1例会報告

日時：2024年7月17日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：柏原佳子会長・上野恭男・大岩雅典・大澤二郎
桑野友子・島田 恒・田辺征一・堤 清・中島かおり
中山豊美・羽太英樹・濱瀬真知子・坂東幸子・
福原吉孝・船橋知子(各ワイズ)、横山担当主事

ビジター：小野勅紘(六甲部部长) 濱浩一(六甲部書記)
山本常雄(六甲部会計)

ゲスト：井上雅司(元メンバー/スギ薬局)大西謙(島田ワイズ友人)・太田邦弘(みどり福祉作業所職員)

新年度のキックオフ例会である7月第1例会は、六甲部部长訪問として、小野勅紘部長をはじめ、濱浩一書記・山本常雄会計の出席がありました。

その他、ゲストも含めて久しぶりに賑やかな例会となりました。新柏原佳子会長の挨拶から新しい、心新たなワイズの活動が始まります。

羽太英樹ワイズによる聖句朗読の後、今回は、かつての芦屋クラブメンバーの井上雅司様の久しぶりの出席、ゲスト、ビジターの紹介の



後、みどり福祉作業所の大沢二郎会長に、芦屋クラブからみどり基金の贈呈がありました。続いて、会食、懇談では、話が進みます。

その後小野勅紘六甲部部长からの挨拶があり、これからの新しい1年に向けてワイズの1人1人が心1つに、活動していくことを新たに、心にきざみました。

その後、例会スピーチが始まります。今年のキックオフ例会として、



昨年同様島田恒ワイズのお話です。「私たちは、今どこにいるのか」初めに、小野六甲部部长と、デンマークのコペンハーゲンにご一緒された話から始められました。コペンハーゲンでロイヤルコペンハーゲンのお店を訪れたこと、私はその昔その店でコーヒーカップを買った記憶がよみがえり、とても懐かしく思いました。島田ワイズのお話は非常に幅広く、コペンハーゲンから賀川豊彦先生、そして本題に移りました。政治経済の世界の潮流、特に世界のグローバリゼーションが崩れて、分断が起きている等、今まさに世界で起きている状況に話が進んでいきます。グローバルとインターナショナルの違い、そして、現在日本が置かれている立場などわかりやすく話されました。キックオフ例会にふさわしい、私たち1人1人がこの世界の状況、日本の置かれているどこか？を、改めて考えさせられるお話でした。

その後、第2例会会議事録の承認の後、西日本区からデジタル委員として大岩ワイズが承認されたことの報告、続いて

EMC委員会(上野ワイズ代読)国際交流、広報、メネット委員会、デジタル委員会(大岩ワイズ)の各主査より、発表があった。特に近年、メンバーの獲得が難しい状況下にある。EMC主査に島田ワイズが就任されている。イベント、講演、音楽会を開催し加入期待の方々を集客したいとのことである。大いに期待したい。国際、交流事業からは、納涼合同懇親会が8月3日ニューミュンヘンで開催される楽しい企画の報告されていた。広報からワイズって何・・・?どんな活動もっと知ってもらうための資料の更新、等、ワイズの活動拡大、刷新のための作戦が各主査より語られていた。続いて、六甲部各7会長より活動方針、計画が発表された。私達の芦屋クラブ柏原会長からは、会長主題「豊かなクラブライフを」タレントを惜しみなく発揮しようのもと、活動方針、活動計画 留学生交流、クリスマス会、芦屋さくらまつり参加等を簡潔明瞭に力強く発表されて新しい年度の希望を大いに感じた次第である。新年度も楽しく、力強く歩むように全員で頑張りましょう。

YMCA 報告、ニコニコ献金報告、今月のお誕生日お祝い、最後に定刻、閉会点鐘となりました。

キックオフ例会として、中身の濃い、充実した例会となりました。ワイズのみなさま、今年1年さらに、今年のコピー「豊かなクラブライフを！」
濱瀬真知子

六甲部2024—2025年度第一回評議会

日時：2023年7月6日(土)14:00～17:00

場所：神戸 YMCA チャペル

まず、2023年度会計報告があったが、メネット事業が縮小される中、供出金に対する疑義の質問、さらに鶴丹谷西日本区理事長への活動資金として支援金が計上されているが任意献金となっている点に質問があった。

続いて、小野六甲部部长体制のスタートにあたり、小野部長方針・活動計画案の発表があった。

主題として、「一人は万人のために、万人は一人のために」が掲げられて、スローガンは、「YMCA、ワイズ、ユースがお互い支えあおう」であった。

部の行事予定、部役員、事業主査、六甲部各クラブ会長が発表され参加者は全員の挙手で承認された。続いて六甲部会計予算案が提示された。会場との質疑応答があり、承認された。

六甲部事業活動方針(案)では、Y サ・ユース、地域奉仕、



EMC委員会(上野ワイズ代読)国際交流、広報、メネット委員会、デジタル委員会(大岩ワイズ)の各主査より、発表があった。特に近年、メンバーの獲得が難しい状況下にある。EMC主査に島

田ワイズが就任されている。イベント、講演、音楽会を開催し加入期待の方々を集客したいとのことである。大いに期待したい。国際、交流事業からは、納涼合同懇親会が8月3日



ニューミュンヘンで開催される楽しい企画の報告されていた。広報からワイズって何・・・?どんな活動もっと知ってもらうための資料の更新、等、ワイズの活動拡大、刷新のための作戦が各主査より語られていた。

続いて、六甲部各7会長より活動方針、計画が発表された。私達の芦屋クラブ柏原会長から

は、会長主題「豊かなクラブライフを」タレントを惜しみなく発揮しようのもと、活動方針、活動計画 留学生交流、クリスマス会、芦屋さくらまつり参加等を簡潔明瞭に力強く発表されて新しい年度の希望を大いに感じた次第である。新年度も楽しく、力強く歩むように全員で頑張りましょう。

福原吉孝

エンターテイメント

わたくし大岩雅典がライブハウススターティングオーバーを三宮に開業いたしました約一年4か月経ちました。



いろいろなエンターテナーを毎日のように見てきました。ギャラの高い人も、アマチュアの方も毎月何十人ものエンターテナーにステージを提供してきました。お店経営的に

採算が合うのはアマチュアの方々です。バリバリの東京のプロの方は殆ど赤字か採算すれすれです。では良いエンターテイメントは何でしょう？私のお店ではバリバリのプロフェッショナルの方よりも、音楽を楽しんでいらっしゃる地元のアマチュアの方々の方が楽しめたりします。お店としましてもアマチュアの方の方がいろいろな意味でありがたく、どちらかと言えば プロ1:アマ9くらいの割合で運営させていただいております。

前置きはここまで、ここから本題ですが、先般、「芦屋ワイズ」のファンド事業をエンターテイメントと講演会で大きなホールでプロミュージシャンと偉い先生の講演会をミックスして大々的に開催すれば、大きなファンド事業になるのではないかとご相談を受けました。有名なミュージシャンはかなりお高く、チケット代をかなり高額にしなければ赤字になります。著名人に安くお願いできたとしても固定経費で殆ど持っていかれ、客の入り次第では赤字ということです。

結論から申しますと、エンターテイメントでファンド事業はハイリスクだという事になります。

ブリテンへの投稿を依頼されて、あらためて活字にさせていただきましたが、「私の仕事はハイリスクだったんだな」と再認識した次第です。好きなことをやっておりますので、まったく気にしておりませんでした。でも楽しいことがいっぱいだと思いました。ありがとうございました。 大岩 雅典

みどり通信 V

いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。毎日暑い日が続いています。7月27日は芦屋市サマーカーニバルでした。花火がきれいでしたね。みどり作業所の有志メンバーで25日、26日に芦屋総合公園のビーチ清掃をしました。花火大会でたくさんのお客さんをお迎えするために、暑い中、ゴミやペットボトルなど拾って回り、きれいにしました。27日当日は縁日の出店をしました。ジュースやかき氷、綿菓子を



販売しました。たくさんのお客さんに買い物に来ていただいて嬉しかったです。そして翌日の28日は朝9時から汚れたビーチの清掃作業をさせて頂きました。この清掃、縁日に参加した利用者さんに感想を聞いてみました。

毛利君 暑かったあ。めっちゃ、暑かった。掃除は大変でした。でもきれいな花火見られたのがうれしかった。楽しかったです。綿菓子の行列が嬉しかった。

福田君 花火が見られて最高やった。きれいやったです。こんなそばで花火見たの久しぶりで嬉しかった。暑くて掃除は大変やったけど頑張れたから大丈夫。皆さん、とても元気です。まだ暑い日は続きますが元気に日々の仕事が頑張れますように。 大澤昌子

【3つの小窓】

①◆今朝【クマゼミ】の初鳴きで目が覚めた。昨年の初夏に起こったペットの悲しい話を…。最近のテレビ、新聞でも【ペットロス】の話題は絶えない。ご近所さんが家族同様に昨日まで一緒に生活していた全身黒の【トイプードル】の【ノアちゃん】が主人公です。ご近所の玄関脇の部屋に何時も留守番の際には巾2メートル x 高さ 40cm 位のモダン設計の彼専用の小窓があり素晴らしい室内植物が見え



隠れている。そして道ゆく私に彼は元気な顔を見せてくれていました。私は道路沿いでいつも被っている帽子をわざわざ脱いで彼に挨拶してやると喜んで尻尾を振っていました。玄関横のガレージに車

が無いと【留守番中】と想像が出来、より深い2人の感情が通じ合い……。《もうすぐお母さんが帰って来るよ！》と元気づける私でした。夕方の散歩ではいつもご主人と一緒にいるのが【ノアちゃん】を交えてのお話しをしているのが日常でした。ところがある日に【彼は高齢で【心疾患】の心配がある】との事を聞かされていましたが……。そして昨年の初夏に突然天に召された。本当に安らかな旅立ちだった…。そのショックはご家族にとっては計り知れず…。おかけする言葉もみつからず…。◆【最近のテレビ】では愛犬家仲間が互いに亡くなったペットを慰ぶ会として其々ご家庭で集ま小パーティを為さっているとか。のニュースが流されてきました。◆実は【ノアちゃん】も昨年8月4日以降、毎月の命日にはご近所の仲よし仲間が和やかに集まって居られるご様子。当日には私も気持ちだけの一束のブーケを【細長いガラス小窓】の前に供花させて貰っている。本当に【ノアちゃん】との繋がりは懐かしい思い出だった。◆最近のニュースにも【ペットロスは乗り越えられますか？】と問いかける新しい付属動物病院が生まれたい。《悲しむ飼い主の良き伴走者》として新しい公認臨床心理士が寄添ってくれるとか。私も数10年前には【純白のスピッツ】に始まり大型犬の【ドイツ・シェパード】それ以後は5代続けて【ミニチュアダックス】達と共に生活してきた体験があり、それぞれの《別れ》は今でも覚えている……。【はて？……】これからの【ペットロス】はどうなって行くのだろうか。

②◆《ユニフォームが白一色の》【英国ウィンブルドン2024テニス】がロンドンで始まった。鮮やかなグリーンセンターコートとラインマン。ボール・ボーイ達の【トラディショナル・アイビーファッション】。そして伝統的



な歴史溢れる男女とも純白の選手達の見事な熱戦が閉幕した。勝者・敗者のスピーチも何時もながら素晴らしく。王室代表のキャサリン王妃のスピーチも風格があり花を添えた。私はこのひと時が大好きだ。③◆時を同じく7月18日より。歴史あるスコットランド・ロイヤル・トウルーン・ゴルフクラブにて世界最古のメジャートーナメント【ジ・オープン】・【全英オープンゴルフ】も間近に開催。《日本勢は松山選手の66位が最高だった。＊次は【パリ・オリンピック2024】では【男子】・松山選手・中島啓太選手【女子】・笹生優花選手に期待したい。いづれもアマチュア出身をこよなくファンとする私は此等選手達のオリンピック挑戦を楽しみにしています。頑張れニッポン！

篠坂幸彦

『 聖句 読み説き 』

洗礼者ヨハネと主イエスの登場は、当時のユダヤ社会に二つの大きな風穴を開けることとなります。その一つは神殿礼拝の是非について。祭司の手を通じての犠牲の捧げものによってのみ罪が赦されることへの疑問であった。二番目は伝統、因習や様々なしきたりにとらわれない生き方をすべきではないかの期待であった。そんな中、洗礼者ヨハネは悔い改めの意思表示としてのヨルダン川でのバプテスマによって救われると説き、一方、主イエスは信じることによって神の側から一方的に救いが与えられると説いた。民衆は因習にとらわれないこれらの新しい教えに飛びつきます。この新しい流れは伝統的ユダヤ教指導者たちにとっては面白いことでなく、ヨハネは獄死、イエスは十字架の道へと進むこととなります。断食問題で疑義が生じた時、主イエスは古い因習を批判し「新しいぶどう酒は新しい革袋に入れるべきだ」と説きます。ぶどう酒は永遠の命を象徴し、革袋は器としての我々自身です。 羽太英樹

7 月第2例会議事録

と き： 7 月 24 日(水)19 時～20 時 30 分

と ころ： 芦屋市民センター204 号室

参加者： 上野、大岩、桑野、島田、田辺、坂東、濱瀬、福原、横山担当主事

議事・報告

事前開催のプリテン委員会で話し合い、第 2 例会の議事録は校正せずに掲載することを決めた。

1) 第1例会の予定

- ・8 月 3 日(土)六甲部合同納涼例会を第1例会とする。
- ・9 月 18 日(水)スピーカー 樹木医 坂上広樹氏
演題:「緑が人に与える健康効果について」
- ・10 月 16 日(水)H・竹園、利用不可のため、菓子匠「萬庵」虎屋吉末で和菓子作り体験をし、例会とする。
- ・11 月 20 日(水)未定
- ・12 月 18 日(水)第 2 例会 H・竹園、会議室にてクリスマス会準備をする。
- ・12 月 23 日(月)クリスマス例会 18 時～ H・竹園 飛鳥の間。

2) 今後の予定

- ・11 月 2 日(土)六甲部部会への参加を要請。H・ヒューイット甲子園での開催。
- ・11 月 4 日(月・祝日)チャリティー・ラン 神戸しあわせの村で開催。濱瀬 Y サ委員より実行委員会の報告があり、飲食販売禁止、物品販売検討など今後芦屋クラブとしての対応を話し合った。

3) 会計報告

桑野会計より、2023 年度の決算報告と 2024 年度の予算案報告があり、承認。

4) その他： 報告、協議事項

- ・会食費の 1,000 円助成を 8 月より中止する。

5) YMCA 報告を横山担当主事よりあった。

書記 上野恭男

YMCA ニュース

今年も夏の余島キャンプが始まっています。各キャンプとも定員いっぱいとなっています。7/20(土)～7/22(月)は、小学 1 年生～3 年生を対象とした、余島キッズキャンプジュニア 2 を 2



泊 3 日で実施しました。はじめは恐る恐る海で遊んでいた子どもたちも、だんだん動きがダイナミックになっていきました。やっぱり

海は最高です。初日の夜はキャンプファイヤーをしました。はじめは薄暗かった浜辺もだんだん

暗くなってきて、月が辺りを照らす頃にはファイヤーも大盛り上がりでした。笑い声と歌声が余島の森に響いていました。みんなな夜は眠れたでしょうか。寂しくて涙が流れた子もいるかもしれませんが、それもまたキャンプです。二日目の午前も海水浴を思いっきり楽しみ、スイカ割りも大いに盛り上がり、冷たくて甘いスイカをいただきました。最終日、帰るとき子どもたちは、もったいないな。帰りたくないな。また来たいな。と呟いていました。夢のようなキャンプの時間は終焉を迎え、帰り支度を始めます。



「絶対、来年も来るから！」とリーダーの手を強く握りしめて船に乗り込んだ子がとても印象的でした。

担当主事

横山徹太郎



編集後記： ◆パリ・オリンピック真っ盛りです。連日の猛暑、なるべく外出したくない、クーラーの効いた家で TV 観戦、どのチャンネルを回しても何かの競技を見ることが出来ます。日本選手の活躍に拍手を送り、残念な結果に一喜一憂です。◆余島でのキャンプ、本当に愉しそうですね！「もったいない」、「帰りたくないな」、「また来たいな」と呟く子供達、2026 年には余島は YMCA の手から離れるとか、子供達に限らず、随分多くの若いリーダー達が青春の一時期を謳歌したと思うととても残念です。芦屋クラブのメンバーの中にも素晴らしい思い出を持っている方や運営に心血を注がれていた方もおられます。今更の感はありますが、何とかならなかったのでしょうか？ 桑野友子

